

一般会計及び各特別会計決算の状況

(単位：円)

区 分	歳入 (収入) 総額	支出 総 額	差 引	
一 般 会 計	4,480,406,909	4,253,921,065	226,485,844	
後期高齢者医療会計	51,476,709	51,103,057	373,652	
国民健康保険会計	502,399,876	502,399,155	721	
介護保険会計	362,695,524	332,874,961	29,820,563	
介護サービス事業会計	214,984,130	214,983,177	953	
下水道事業会計	198,817,778	198,816,787	991	
水道事業会計	収益収支	151,623,488	146,887,359	4,736,129
	資本収支	25,540,920	99,912,558	△74,371,638

※水道事業会計資本収支の不足額74,371,638円は、過年度分損益勘定留保資金等で補填。



平成29年度一般会計及び各特別会計の歳入歳出決算は、9月13日開催の決算審査特別委員会(前崎委員長)において審査した結果、各会計決算とも認定すべきと決定し、第3回定例会で報告いたしました。

主たる審査の内容は以下のとおりです。

決算審査特別委員会

29年度決算の認定

■ 財産収入
Q 山内委員
 平成29年度の堆肥の売上が減少した要因を伺う。
A 山野経済課長
 主な原因として、水分調整材の粉殻量の減少と前年度の繰越量等の関係

平成29年度一般会計及び各特別会計の歳入歳出決算は、9月13日開催の決算審査特別委員会(前崎委員長)において審査した結果、各会計決算とも認定すべきと決定し、第3回定例会で報告いたしました。

主たる審査の内容は以下のとおりです。

一 般 会 計

歳入
■ 使用料及び手数料
Q 山内委員
 社会教育使用料と保健体育使用料の関係で利用人数の減少の要因と対処方法について伺う。
A 木村社会教育課長
 利用人数の減少は、公民館サークルやスポーツ団体では団体数・人数の減少が主な要因で、スキー場においては、スキー人口の減少が考えられる。今後の対処方法として、公民館・体育館・スキー場等の利用向上を図るため、各種教室や新しいスポーツ等を取入れ、また、各関係施設との連携を図り、利用者増を進めたい。

■ 寄附金
Q 山内委員
 ふるさと納税寄附金について平成30年現在までの件数・金額と牛肉を返礼品とし、今年は逆に伸び等がいいのかどうかについて伺う。

A 運上財政課長
 平成29年度9月までの寄附件数は124件で金額は120万円、今年度は244件・310万円で返礼品については、平成29・30年度で扱っているものは同じである。

平成28年度の販売量が増え、平成29年度は生産量が少なかったということで作った物は殆ど完売し、1千458tの販売量となっている。